

2025年 1月 19日

主 日 礼 拝 午前8時半 / 10時半 / 夜7時

司 会 石井 秀人兄

奏 楽

祈 禱 白川 達男兄

賛 美 讃美歌66番「聖なるかな」

~God bless you~

ヤベツの祈り

聖書朗読 使徒行伝28章1~5節

特別賛美 大和カルバリー聖歌隊&アンサンブル

メッセージ 「あなたの夢は必ず実現する！」

石井 潤 牧師

献 金 聖歌397番「とおきくにや」

賛 美 ~主の栄光宮に~ [献金:渡辺姉・政枝姉]

祝 禱

お知らせ [司会者]

賛 美 ~喜びがある~

☆礼拝にお越しくださった皆様を心よりご歓迎いたします!☆
《今週のお知らせ》

☆本日も礼拝の恵みを感謝致します。今週も主の恵みに満ちあられますように!

★今週の祈り会は、①明朝6時。②木曜午前10時半/夜7時半。③土曜夜8時。

☆来週の日曜午後は聖歌隊です。(司会:白川兄/祈禱:小山姉/献金:千鶴子姉・和田姉)

《予告》2/2(日):誕生祝福式/聖書の学び会(Ⅱペテロ1章/担当:千鶴子姉)

☆☆一年に一回聖書を完読できる! Bible Reading Plan [1/19-/26]☆☆

Date	日	月	火	水	木	金	土	日
聖書箇所	マタイ 13:1-30 /創世記 41	:31-58 /42-43	14 /44-45	15:1-20 /46-47	:21-39/ 48-50	16/出エジブ ト記 1-3	17/ 4-5	18:1-14 /6-8
チェック	○/○	○/○○	○/○○	○/○○	○/○○ ○	○/○○○	○/○ ○	○/○○ ○

「あなたの夢は必ず実現する！」

～阪神淡路大震災と福音宣教の夢～

「『こういうわけで、あなたがたに会って語り合いたいと願っていた。事実、わたしは、イスラエルのいたっている希望のゆえに、この鎖につながれているのである。』…そこで、日を定めて、大ぜいの人が、パウロの宿につめかけてきたので、朝から晩まで、パウロは語り続け、神の国のことをあかしし、またモーセの律法や預言者の書を引いて、イエスについて彼らの説得につとめた。…パウロは、自分の借りた家に満二年のあいだ住んで、たずねて来る人々をみな迎え入れ、はばからず、また妨げられることもなく、神の国を宣べ伝え、主イエス・キリストのことを教えつづけた。」
使徒行伝28章20、23、30・31節

パウロはローマに着いて、引き続き囚人のままでしたが、全くそんな不自由さも感じさせないほどに、何の遠慮もせず、恐れることもなく、大胆に自分の使命である、「神の国」と「イエス・キリスト」について人々に語り続けました。そして、To Be Continue(次回へつづく)…。という感じで、この使徒行伝は閉じられています。

パウロが必死になっていたのは、自分のことではありませんでした。全く自分の人生を心配することもなく、ただひたすらに、神の使命に生きつづけました。それは、以前にイエス様に直接語られたように、「それは、彼らの目を開き、彼らをやみから光へ、悪魔の支配から神のみもとへ帰らせ、また、彼らが罪のゆるしを得、わたしを信じる信仰によって、聖別された人々に加わるためである。(26章18節)」という務めをひたすらに果たすためでした。

私自身が、自分の人生をお捧げしてから今年で30年となります。先日の1月17日は、阪神淡路大震災より30年という記念の日でした。その日の正午から、神戸市始め各地で記念の式典がなされていましたが、私もラジオでその放送をお聞きました。先日選挙で再当选を果たした斉藤知事もとても良いスピーチをしていました。30年という長い時間が経過したが、“決して風化させてはならない”ということでした。私自身、大学生時代にこの震災を通して、人生の未来を最終決定させられました。世の終りを意識して、福音を伝えることが最優先課題であることを意識させられました。災害などで、多くの魂が失われる前に、福音を届けなければならない。そんな中、2011年に東日本大震災が起きてしまいました。考えられないほどの方々が亡くなりました。そして、今、「南海トラフ地震」が叫ばれています。肉体も滅びないようにしなければなりません。私たち人間の永遠に関して、人々の霊的な命を救い出さなければなりません。何が希望なのか？何が救いなのか？すでにキリストはその道を開いてくださいました。その道を、私たちクリスチャンは知ることができましたが、それを知らない方々が大多数という状況の日本にあって、私たちクリスチャン、教会の責任はとても担い切れるような大きさではありません。パウロが語り続けた「神の国」と「イエス・キリスト」について私たちは語り続けなければならないのです！